

福岡県医発第1551号(地)

平成18年11月24日



各 医 師 会 長 殿

福岡県医師
会長 横倉



シンポジウム「大規模災害時に難病患者はどうなる？」の開催について

標記シンポジウムが、平成18年12月16日(土) 13:00より三重県庁に於いて別紙のとおり開催される旨、三重県保健福祉部より通知がありました。

つきましては、参加希望者がありましたら、別紙裏面の申込書により直接お申し込み願います。

小郡三井医師会より

担当理事 蒲池 壽・島田昇二郎





事 務 連 絡

平成18年11月16日

各都道府県医師会 様

三重県健康福祉部健康福祉総務室長

シンポジウム「大規模災害時に難病患者はどうなる？」の開催について（案内）

現在本県では、災害時要援護者対策として、関係NPO団体等と協働で災害時における難病患者の行動・支援対策事業に取り組んでいます。

その取り組みの一環として、今回別紙のとおりシンポジウムを開催いたしますので、ご案内させていただきます。

三重県内のみならず、他都道府県からの参加も大歓迎です。

事務担当
経営支援グループ 落合・黒田
電話 059-224-3056
FAX 059-224-2275



【講演会】

大規模災害とは」

三重県防災ボランティアコーディネーター養成協議会
議長 山本 康史

【講演2】

大規模災害時に

1型糖尿病患者がおかれる状況と
その対策」

独立行政法人国立病院機構三重病院
院長 庵原 俊昭

パネルディスカッション

大規模災害時に

難病患者がおかれる状況とその対策」

～1型糖尿病患者からのアプローチ～

パネリスト

独立行政法人国立病院機構三重病院 院長

庵原 俊昭

日本イーライリリー株式会社 渉外・広報部長
(本社：神戸市、阪神淡路大震災経験)

平田 研

三重県 健康づくり室 室長

宮川 一夫

日本IDDMネットワーク会員 (患者、阪神淡路大震災被災者)

森地 一夫

コーディネーター

三重県防災ボランティアコーディネーター養成協議会 議長

山本 康史

定員 250 名
入場無料

事前申込が必要です。
詳細は裏面をご覧ください。

シンポジウム 大規模災害時に難病患者はどうなる？ 1型糖尿病患者からのアプローチ

いつ何処で起こるかわからない大規模災害

その時、難病患者はどう行動すべき？

こういった支援が得られる？

自助7、共助2、公助1ってどういうこと？

今回、日本での年間発症率が10万人あたり

1～2名といわれる“1型糖尿病”をモデル

ケースに、患者・医療者・行政・企業・防災

NPO、それぞれの立場から、難病患者の災害

時における行動・支援のあり方を考えます。

とき

平成 18 年

12月16日(土)

13:00～17:00 (開場 12:00～)

*会場では、1型糖尿病の治療に必要な製品の展示も行います。

ところ

三重県庁講堂

三重県津市広明町13番地

JR紀勢本線・津駅、近鉄名古屋線・津駅から徒歩約8分

自動車でお越しいただく場合は県庁前大駐車場をご利用ください。

対象

全国の1型糖尿病患者、家族、医療関係者、防災関係者、行政、製薬会社はじめ広く一般の方々

主催

三重県 (健康福祉部、防災危機管理部、生活部)

災害時の難病患者支援プロジェクト

〔三重県防災ボランティアコーディネーター養成協議会
特定非営利活動法人災害ボランティアネットワーク鈴鹿
特定非営利活動法人日本IDDMネットワーク〕

後援

厚生労働省、内閣府政策統括官 (防災担当)、津市、日本製薬工業協会、国立病院機構三重病院、三重県医師会、三重県薬剤師会、三重県看護協会、三重県社会福祉協議会、三重難病連、つばみの会三重 (順不同)

写真提供：神戸市 (阪神・淡路大震災)



こんにちは！ わたしたちは、全国の1型糖尿病の患者・家族の連携組織
NPO 法人日本 IDDM ネットワークです！

〒 840-0801 佐賀県佐賀市駅前中央1丁目8番32号 iスクエアビル3F 市民活動プラザ内「レターケース No.42」
 TEL 090-2713-7849 陶山（すやま） FAX 0952-40-2011 Eメール i-net@isis.ocn.ne.jp
 会員募集中！詳しくはホームページへ URL <http://www5.ocn.ne.jp/~i-net/top.html>

日本 IDDM ネットワークは、“災害時の難病患者支援プロジェクト”を主宰しています！

平成7年1月17日に発生した阪神淡路大震災では、被災地の1型糖尿病患者はインスリンの入手等に変な苦労を強いられました。日本 IDDM ネットワークは、この震災を契機に全国の患者・家族の連携を図るために、同年9月に発足、現在NPO法人として、政策提言（20歳以上の患者への支援策等）、調査研究（大規模災害時における患者の行動・支援指針の作成、脾臓移植専門医との共同研究等）、社会啓発のためのシンポジウム開催、療育相談等に取り組んでいます。これらの事業の一環として、“災害時の難病患者支援プロジェクト”を主宰し、今回のシンポジウムを開催します。

日本 IDDM ネットワーク『第7回全国患者・家族交流会』開催のお知らせ

この度、三重県と災害時の難病患者支援プロジェクトのシンポジウム開催に併せて、日本 IDDM ネットワーク恒例の「第7回全国患者・家族交流会」を、シンポジウムの翌日、下記要領にて開催いたします。シンポジウム共々、たくさんのご参加をお待ちしております。

NPO 法人 日本 IDDM ネットワーク 第7回全国患者・家族交流会

日時：平成18年 **12月17日（日）** 10:00～16:00

会場：**アスト津 3F みえ県民交流センター**
 三重県津市羽所町700番地（津駅前）

内容：① **第1分科会**（定員60名）10:00～12:00
 テーマ「**大災害、その時あなたは？ ～災害時の行動指針と支援～**」
 講師：三重県防災ボランティアコーディネーター養成協議会 議長 山本 康史 氏

② **第2分科会**（定員80名）10:00～16:00
 テーマ「**カーボカウントって？ インスリンポンプって？**」
 講師：大阪市立大学大学院発達小児医学 広瀬 正和 先生

③ **第3分科会**（定員60名）10:00～12:00
 テーマ「**日本における脾臓移植の現状と課題**」
 講師：京都大学医学部附属病院 移植外科 興津 輝 先生

交流会（申込不要）13:00～16:00

参加費：無料

申込：下記の参加申込要領に従って
 参加希望の分科会をお知らせください。



FAX 059-224-2275 もしくは 096-369-3080

参加申込書

参加申込要領：参加ご希望の方は、下欄で記入の上 FAX 送信いただくか、下欄内容を下記いずれかの連絡先に郵便か E-mail でお送りください。
 なお、17日の全国患者・家族交流会の参加の申し込みについては、ご希望の分科会の番号（①②③いずれか）をご記入ください。

氏名			所属（勤務先・患者会名など）	
連絡先 いずれか1つを ご記入ください	☐ 住所 〒 ☐ TEL ☐ FAX ☐ E-mail			
参加希望行事	☐ 16日シンポジウム *シンポジウムは先着順のため定員になり次第締め切らせていただきます。 ☐ 17日全国患者・家族交流会 ～希望する分科会 第一希望（ ）、第2希望（ ）、第3希望（ ） *分科会は先着順のため定員に達した場合はご希望にそえないこともあります。			

*お預かりした個人情報は、ご連絡するためにのみ使用し、ご本人の承諾なしに第三者に提供することはありません。

三重県 健康福祉部 健康福祉総務室 黒田、落合

〒514-8570 三重県津市広明町13番地

TEL: 059-224-3056 FAX: 059-224-2275 E-mail: kenfuku@pref.mie.jp

熊本県難病相談・支援センター 所長 陶山（すやま）えつ子（日本 IDDM ネットワーク専務理事）

〒862-0901 熊本市東町4丁目11番1号 熊本県健康センター3F

TEL: 090-2713-7849 FAX: 096-369-3080 E-mail: nanbyo-0555@extra.ocn.ne.jp

お問い合わせ
 お申し込み